

6月 議会定例会

特別職（市長・副市長・教育長）の給与1割削減に伴う条例改正と議員発議による議員報酬1割削減を全会一致で可決

御前崎市議会6月定例会を6月1日から6月26日まで26日間の会期で開催しました。浜岡原子力発電所全号機停止による、厳しい財政状況を踏まえ、特別職給与と議員報酬をそれぞれ1割削減する条例などの条例関係3件、規約変更2件、市道の路線廃止及び財産処分、財産取得などを審議し、原案通り可決しました。御前崎市選挙管理委員会委員及び補充員選挙、御前崎市教育委員会委員の任命、御前崎市池新田財産区委員の選任に同意するとともに、意見書3件を採択しました。また、一般質問には9名が登壇して市長等の見解を質しました。

条例

「住民基本台帳法等の改正等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定」
外国人登録法の廃止に伴い、関連条例の一部を改正するもの。

「御前崎市特別職の職員で常勤のもの等の給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定」
市長及び副市長の給料を2年間1割減額するもの。

「御前崎市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定」
教育長の給料を2年間1割減額するもの。

「監査委員の選任」
任期満了となる鈴木俊夫氏の再任に同意したものを。

「選挙管理委員会委員及び補充員選挙」
任期満了に伴い選挙管理委員会委員に平野豊氏、安西昭男氏、須藤利雄氏、松井秀浩氏の4氏が、同補充員に佐藤陽一郎氏、曾根俊一氏、榎林達夫氏、大石愛子氏が再選されたもの。

「教育委員会委員の任命」
任期満了により、改選となる教育委員に吉村勝氏の再任、紅林幸枝氏（池新田）の選任に同意したものを。

「池新田財産区管理委員の選任」
増田伊輝氏の選任に同意したものを。

議員発議

「御前崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定」
議員報酬を2年間1割減額するもの。

「基地対策予算の増額を求める意見書」
「尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書」

「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書」

「静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更」
静岡県市町村総合事務組合規約の変更

「静岡市市道、路線廃止及び財産処分を行ったもの」
「財産の取得」
浜岡学校給食センターの厨房用食缶類洗浄機を取得するため議決したものを。

「静岡県市道、路線廃止及び財産処分を行ったもの」
「市道の路線廃止及び財産の処分」
中部電力浜岡原子力発電所敷地内に存在する市道の、路線廃止及び財産処分を行ったもの。

役職	月額報酬額	
	現行	10%減額
議長	390,000	351,000
副議長	330,000	297,000
委員長	310,000	279,000
議員	300,000	270,000

※適用期間：平成24年7月1日から平成26年6月30日まで

一般質問

9名が登壇 市政を問う
*この一般質問は6月14日と15日に行われたものです。

市長選挙の公約に関して



阿南 澄男

問 6点の選挙公約について具体的な内容と実現方法は

答 「複合災害に強い町づくりをします」

市民の生命を守るためには津波対策の推進が必要と考えます。「行政改革を加速します」「第二次御前崎市行政改革推進行動計画」の策定を現在進めており、

より一層行政改革を推進していきます。「思いやりの医療環境を整えます」医師不足は慢性化し、医師の増員は非常に困難な状況が続いております。中東遠地域における中核病院や近隣病院との連携を強化し、救急医療体制の整備に取り組んでまいります。「産業振興を

して雇用を守り、創りま

す」御前崎港を核とした産業振興を考えています。港湾を利用する産業の振興を図り、積極的なトップセールスに努めます。「子育てしやすい環境づくりを進めます」園・小中学校・行政・関係機関が連携・協力して支援する活動を行い、市全体で子どもたちを育てるという意識を持つて、取り組んでいきます。「クリーンエネルギーを推進しま

税収確保策と消防庁舎建設について



岡村 勝

問 企業の市外流出を防ぐ支援策は

答 土地購入費の補助、新規雇用従業員に対する補助、新設・増設に伴う固定資産税に対する奨励金、県内で当市のみが行っている設備投資に対する借入金の子補給制度を整えております。また民間企業が設置する避難タワー等の設備投資に対する補助金制度を創設し、継続操業の支援体制の充実を図っております。新たに工場用地を先行造成することは現時点では考えておりませんが、移転回避策としては有効であり、今後調査研究したいと考えます。

津波想定高が変わったことにより新消防庁舎建設について再検討の考えは

予定地の地盤高は海抜12・7m、2階床高17・2m、3階屋上高25・47mの建物を計画しておりました。



白羽地区通学路

問 通学路の安全確認は

安全確認は毎年年度初めに行っています。また、危険箇所割り出し、避難場所の選定など安全な通学路の確保に努めてきております。

介護及び予防について 生活保護について 子どもの安全確保について



曾根 正浩

問 本年4月に制度化された「24時間対応の定額訪問介護」は考えていますか

答 正式名称は「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」といいますが、24時間対応で、利用回数には関係なく、料金を心配せずに利用できるサービスです。現在、利用要望がありませんので、実施の予定はありません。

問 教育現場における震災時の避難マニュアルの作成は

予知情報発令時の対応、校内防災体制づくり、避難訓練・引き渡し訓練の方法等を記述した「防災マニュアル」を作成し、防災対策を継続的に行っていきます。

問 生活保護不正受給対策は

申請者の預金の有無、生命保険の加入状況、年金受給状況などの調査を行っています。また、保護決定以降は定期的な家庭訪問を行い生活実態の確認等の調査を可能な限り実施し、不正に受給することのないよう指導を行っています。

メガソーラー事業参入について



齋藤 洋

問 メガソーラー事業への参入について、市の取組み姿勢は。また、県から購入した砂地試験場跡地の活用方法として、計画中の施設へのメガソーラー事業取組みもしくは太陽光発電を活用した農業施設の建設は検討できないか

市は、クリーンエネルギーの活用を推進しております。昨年度は、太陽光発電施設用地の問合せが5件ありましたが、残念ながら具体的な交渉に至っていない状況です。今後市内の太陽光発電に適した用地の情報収集を行い、問合せに適切な対応ができるよう努め、立地を支援してまいります。

なお、砂地試験場跡地については、農業振興拠点施設の建設を進めていますので、メガソーラーの設置については考えておりません。

問 静岡市町村振興センター「情報提供事業」の活用状況と今後の運用について

ラジオ・新聞への観光及びイベント情報提供については、適宜十分に活用できていると考えております。

今後は、商工観光課が観光協会の主管部署となり、観光協会や商工会、関係団体との一層の連携を取り、市の観光振興を図っていき

